

7層（約3万年前の土層）で発見された石器

たた
敲き石
 手で握って、石や木の実を割るために使われた石のハンマー。握りやすい細長い石が使われる。



たた
 敲き石の利用想像図

石斧
 大きな石を斧のような形に加工したもの。



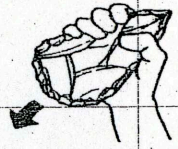
石斧

(接合)

石斧

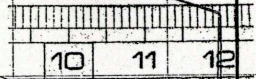
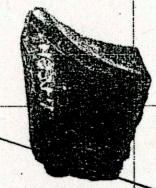
石斧

(接合)



石斧の利用想像図

台形様石器
 石の端のすどい部分を残り、台形に加工した石器。



台形様石器

せつごう
接合とは…
 発見された石器の破片をくっつけてもとの大きさの石に復元すること。今までのところ、原田遺跡では4組接合している。

